

ムカデを抑制しましょう！

そろそろ梅雨の時期に入ります。様々な虫たちが、蠢いているのではないのでしょうか？

特にムカデ湿気を好む為、雨の多い梅雨～初夏にかけて活動が活発化します。



そのムカデの対処法を採り上げます。

ムカデは主に草むらや林の落ち葉、石垣などの屋外に生息しています。但し、屋内に生息しない訳ではなく、屋内の天井裏や床下、押入れ、洗面所など比較的湿気の多い場所にも出現します。

関東県内でよく見かけるのはアオズムカデという種類で、体長10～15cmで、黒い胴体に赤褐色の頭部、黄褐色の脚です。



←←←←←←←←←←
屋外に蠢く
アオズムカデ
←←←←←←←←←←

ムカデによる被害

ムカデは肉食な為、ゴキブリや蜘蛛などの昆虫を好んで食しますが、時には人を襲う事もあります。発達した顎で咬む『咬害』を及ぼします。

また、ムカデは咬むと同時に毒を出し、痛み・腫れ・湿疹などを引き起こします。種類によっては毒性が強く、呼吸困難・意識不明になる事もあります。

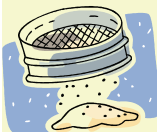
環境改善と駆除方法

家屋に侵入されにくくする為の環境改善を心掛けましょう。

ムカデは湿気を好む為、天井裏や床下、押入れ、洗面所など湿度が上がりやすい場所を中心に屋内の通気を良くしましょう。



床下に関しては中々通気が難しいと思われるので、粉剤と呼ばれている種類の駆除剤を内部壁面に沿って仕掛けるのも効果的です。



建物周りに多く見かける場合は、粉剤を建物の外周に粉剤を仕掛けると良いでしょう。

但し、粉剤は水気に弱い為、雨が降ると効果が無くなってしまいますので注意が必要です。

万が一屋内に侵入されてしまった場合は、屋外に掃き出すなど、素手で触らないようにして処理しましょう。

地球の環境衛生を創造する
株式会社 FCC[®]
fine, comfortable & creative

株式会社 FCC

住所: 神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32

電話 0466-31-3164

FAX 0466-31-3174

URL <http://www.fccsystem.co.jp>

E-mail info@fccsystem.co.jp

FCC News

2008年6月号

NO. 0053



目次

本紙

へチマの力

腸炎ビブリオ

ムカデを抑制しましょう。

別紙

季節のムシ暦

環境コラム

へちまの力 ～グリーンカーテンの効果～

へちまは、熱帯アジア原産のウリ科の植物です。

へちまと言えば、子供の頃に小学校などでへちまの繊維質の実を乾燥させ、たわしを作った事がある方もいらっしゃるのではないのでしょうか？



このへちまと言う植物は、棒などに巻き付きよく繁茂する事から、日本では古くから夏場に縁側などで育てて日陰を作る緑陰食物として重宝されてきました。



温暖化が進む今、再びこのへちまが活躍の場を少しずつ広げてきている事を、皆様はご存知でしょうか？

昨年の都農林総合研究センターの実験により、建物の壁面緑化は夏の省エネに大変有効だという事が判明しています。

その実験によると壁面緑化は屋上緑化より節電効果が高く、壁面緑化に最適な植物は、つる性の植物であるへちまやゴーヤだということです。

その効果は、窓枠にへちまを這わせ壁面を緑化することで直射日光を遮り、室温の上昇を抑えます。また、葉の気孔から水分を蒸発する事で体感温度も下げる事が出来ます。

過去に、緑化なしログハウスと屋根と壁面を緑化したログハウスで、気温35℃の条件化でエアコンにて25℃を維持する実験を行ったところ、緑化したログハウスの方が緑化なしに比して32%の省エネ効果があったそうです。

地球にも優しく、懐にも優しい。
エコの最高の形ではないかと思えます。



←←←←←
校舎に根付いた
グリーンカーテン
←←←←←

腸炎ビブリオ ～脅威の繁殖力を誇る食中毒～

昨今、衛生状況が良くなってきている事もあり数の年々少なくなってきてはいますが、まだまだ夏場の被害は多数報告されています。

この細菌の特徴は海水や海中の泥の中に潜み、他の食中毒菌に比べて繁殖スピードが速い事にあります。特に夏場の繁殖速度は要注意です。



但し、熱に極めて弱く、低温では増殖が出来ない為、普段から注意する事で容易に防ぐ事が可能です。



菌は、暖かい季節の主にアジやサバ等のエラやタコやイカ、貝類等の内臓等に付着しています。

～予防の為のアドバイス～

・魚介類は加熱すると菌は死滅します。

・調理する直前までは4℃以下で低温保存する事により繁殖を防げます。



・さしみなど生食する場合は、直前まで低温保存し、早々に食しましょう。

・2次感染を防ぐ為に、保存時に魚介類と他の食品をしっかりと分けましょう。好塩菌である為、漬物など塩分を含む食品への感染には特に注意が必要です。

・腸炎ビブリオは真水では生きられない為、魚介類を調理の際に、真水でよく洗きましょう。



・まな板や布巾などの調理器具は魚介類専用のものを用意し、使用するようにしましょう。使用した調理器具はよく洗い、熱湯などで殺菌しましょう。

万一感染しても、殆どは抗生物質投与で2～3日ほどで快方に向かいますので慌てず対応しましょう。



季節の虫暦 ⑦

著者 医学博士・農学博士 林 晃史

〈厨房の小さな悪魔コバエ〉

例年だと五月の連休頃には、シロアリの多発が話題になるが、今年はそれが無かった。しかし、意外な虫達が、方々で出没し、わずかながら「虫前線」を活性化させてくれた。

その虫は、コバエ類と云う小型のハエ達で、その代表がチョウバエ (Moth flies) と呼ばれるハエである。

このハエ、わが国では、もともと人に禍をもたらす性質の虫では無かった。それが、にわか問題になってしまったがその理由を考えたい。

チョウバエを問題虫にした原因は、人の生活環境が大きく変った所にある。その一つが、身近な快適さを求め、汲み取り便所に替って水洗便所と浄化槽を普及させたために起った所産なのである。

汲み取り便所の悪臭は、水洗便所にする事で無くなったが、槽内のスカムがチョウバエを育む格好の場所となるなど夢想だにできなかった。チョウバエは、人間が造り出した、新たな害虫なのである。

なんと云うことは無い、汲み取り式便所のセンチクバエが、水洗便所のチョウバエに交替しただけのことである。

これからが、このチョウバエのシーズンで、ホテルやレストランのトイレの壁面、地下飲食街の調理場など各所で、成虫の姿が目立つようになる。

厨房内の排水溝から発生したチョウバエが、店内や調理場付近の壁面に点々と静止している様は、不快感を超えて怖さを感じさせるものがある。

この虫の生態だが、成虫の寿命は14日前後で、雌の成虫は一生に少なくとも100個の卵を産む。

卵は、2日前後で幼虫になるが、これが人の泌尿生殖器、消化器、気道、眼瞼内などに迷入し、「ハエ症」を引き起こすと云う厄介者である。成虫は、発生源が不潔な場所だけに、何を伝播するか判らないので油断が出来ない。

食品工場などでは、製品に混入する事故もあって、問題害虫である。

チョウバエ対策には、幼虫期と成虫期のふたつがある。幼虫対策は、施設内の排水溝など小規模な所では、蓄積物をよく洗浄除去し良く乾燥すると良い。特に、排水溝の「糞の子」の裏側を入念に洗浄することが大切。

成虫の場合は、トイレ周辺などならば、市販の空間噴霧剤で容易に駆除出来る。また、成虫は、夜間活動性なので、夜間にライトトラップにより補足するのもひとつの手法である。

いずれにしても、「発生源」が限られているので、これを特定して殺虫剤による化学的駆除を行う必要がある。チョウバエは、厨房の小さな悪魔である。もうひとつ、コバエの仲間にもミバエと云う厄介者がいる。



〔写真説明〕

小さな悪虫、チョウバエの成虫
(厨房の水周りを発生源とする)

環境コラム く個人からの地球温暖化対策をく

今、世界中で最も注目を集めているものの1つに地球温暖化問題があります。サミットがある度に話し合われているのですが、中々進展がないのが現状です。地球に危険が迫っている今、個人個人の手から地球温暖化対策を考えてみませんか？



地球温暖化は、主にCO₂（二酸化炭素）の増加によって起こります。CO₂は太陽光によって暖められた熱を宇宙に逃がさない性質をありますので、CO₂の増加が地球温暖化の大きな要因となります。

逆に言えば、私たち1人1人がCO₂の排出を減らす事により、温暖化抑制に繋がるのです。その輪が広がれば、温暖化抑制により大きな力となるでしょう。

小泉前首相が流行らせた『クールビズ』。今年はこれで夏を越してみませんか。

そもそもクールビズとは何でしょう？

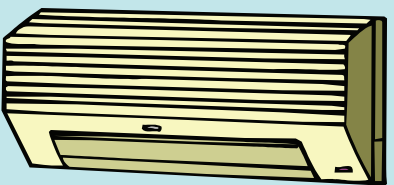
「ネクタイをしない事：：？」

いやいや、そうではないのです。

【夏にエアコンを28℃に！】

その為に、涼しく過ごす為の工夫をする事を指しているのです。つまりネクタイをしない事もその一環で、しない事により体感温度が2℃下がると言われています。

現在、日本で使用されている電気エネルギーの大部分は、石油・石炭・天然ガスなどを燃焼させて作られます。電気エネルギーを生み出す為に大量のCO₂を排出している訳です。



家庭の電化製品の中で、最も消費電力が大きいのがエアコンです。特に夏や冬になるとその電力量は大幅に上がり、1年を通してみても、家庭に使われる電力量の約25%を占めています。



冷房の設定温度を1℃上げ、暖房の設定温度を2℃下げるだけで、消費電力を約10%抑えることができます。その目安は冷房で28℃、暖房で20℃と言われています。（因みに、冬に暖房設定温度20℃で暖かく過ごす為の工夫をウォームビズと言います。）

湿度が高く蒸す時は、除湿機能を使用してみましょう。湿度が15%下がると、体感温度は1℃下がると言われています。

忘れがちなのが、フィルターの掃除です。ホコリで目詰まりしてしまうと、風量が低下し効率が悪くなります。こまめに掃除機で吸い取るようにしましょう。



また、アロマなどの香りを使用するなど新しい試みも続々と始まっています。皆様も、これからの夏の季節に自分だけの『クールビズ』を実行してみませんか？